

産学官連携部会六次産業化育成連絡会の設置・運営

COC+申請大学・参加校等による情報交換・共有と他の事業協働機関との連携強化

プロジェクトメンバー

熊本県立大学 地域活力創生センター センター長・松添直隆

連携機関 熊本大、熊本学園大、崇城大、東海大、尚絅大、九州看護福祉大、熊本高専 等

プロジェクトの概要・目的

COC+事業の本旨のひとつである地域協働機関間の連携によって、第1次産業の競争力強化と6次産業化支援を実施するために、COC+事業に関わるすべての大学・高等専門学校を構成員とする「熊本地方COC+推進協議会企画委員会産学官連携推進部会六次産業化育成連絡会」を設置した。

平成28年度はとくに大学・高等専門学校間の意思疎通を確実にする“チーム・ビルディング”を重視し、原則として月1回の定例会を開催した。そこでは第1次産業に係るすべての取組について意見交換を行い、共通認識の形成を目指した。また同時に、より深い視点から事業を進めるために、連絡会でほぼ毎回、勉強会を開催した。

活動内容と成果・効果

平成28年度に実施したシンポジウム、シーズ集の作成、自治体や企業との連携事業、高等学校との連携の試み等すべての取組を成功させることができたのは、連絡会での意見交換と方針確認に因るところもあると考えられる。勉強会は、6次産業化の意味・意義、自治体の取組の現状等のテーマで行った。第1次産業の強化に関する最新の知見を得ることができ、具体的な取組の検討に大いに役立った。

勉強会のテーマと話題提供者は以下のとおり。

第1回「農工連携&観光連携の紹介」(熊本大学・池崎健介氏)

第2回「6次産業化について」(熊本学園大学・山内良一氏)

第3回「熊本県における第1次産業の6次化について」(熊本県流通アグリビジネス課・大王龍一氏)

第4回「熊本における6次産業化推進の現状とサポート体制」(熊本農協中央会・猪本浩幸氏)

第5回「まち・ひと・しごと創生 山の都人口ビジョン・山の都総合戦略」(山都町・山下公司氏)

第6回・第7回 勉強会無し

第8回「地方創生と高大連携」

また、熊本県が実施する事業を各大学・高等専門学校に周知する場としても有効な機能を果たした。具体例としては、熊本県むらづくり課が推進した「中山間地域サポート推進事業」への参加団体を連絡会で募ったところ、前年度の2大学2グループから、28年度は4大学8グループに増加した。さらに、COC+事業をより着実に推進するために、農業系高等学校との連携を重視し、3月16日に開催した第8回連絡会では農業系高等学校校長にも参加してもらい、大学・高等専門学校との意見交換を行った。その際、文部科学省初等中等教育局の調査官にも出席してもらい、現状と今後の方向性等に関する説明・助言を受けた。

連絡会が主催した事業のひとつに、2月20日に開催した「ものづくりフォーラム」がある。加工食品製造メーカーと連携して、ものづくりの楽しさ・厳しさと県内企業の魅力を学生に理解してもらうことが目的だった。出席した学生から「非常に興味深い内容だった」との感想が多く聞かれた。

(資料)

プロジェクト名：産学官連携部会六次産業化育成連絡会の設置・運営

プロジェクトのテーマ：COC+申請大学・参加校等による情報交換・共有と他の事業協働機関との連携強化

○熊本地方 COC+推進協議会企画委員会産学官連携推進部会六次産業化育成連絡会の様子



○平成29年2月20日熊本県立大学 CPD センターで開催した「ものづくりフォーラム」の様子。

